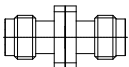


適用規格		IEC 61169-32			
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +125℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	—	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 65 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 4 mΩ以下 外部コネクタ 2 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5 0 0 0 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC500Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 ①	周波数 0 ～ 65 GHzにて測定する。 測定方法はBack to Backで実施。	V SWR 1.2 以下 (0～30GHz) V SWR 1.4 以下 (30～60GHz) V SWR 1.6 以下 (60～65GHz)	○	○
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	d B 以下	—	—
	機 械 的 性 能	コンタクトの ゲージ保持力	φ0.495 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。	挿入力 N 以下 引抜力 0.05～2 N ②	—
総合挿抜力		適合コネクタで測定する。	差込力 N 以下 引抜力 N 以上	—	—
繰 り 返 し 動 作		500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 6 mΩ以下 外部コネクタ 4 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 震 性		周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 衝 撃 性		加速度 980 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		— N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能		温湿度サイクルの 耐湿性	温度 -10 ～ +65 °C, 湿度 90 ～ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 5000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○
	温度サイクル	温度 -55 → — → +125 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	試験後に電気特性を満足すること。	○	—
△の数		訂正記事	設計	検図	年月日
② 1		DIS-D-00005254	AH. MARUYAMA	NK. NINOMIYA	20200917
備考 注 ① Back to Backの測定状態 ポート1  ポート2			承 認	TS. NOBE	20190108
			検 図	MH. OGUSU	20190108
			担 当	AH. MARUYAMA	20190108
			製 図	AH. MARUYAMA	20190108
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-380932-12-00	
製品規格表  ヒロセ電機株式会社			製品名	HV-R-SR2 (12)	
			製品コード	CL338-0010-0-12	② 1/1